**日本医療研究開発機構　医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業**

**戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）日・北欧共同研究**

**日本側追加応募様式**

***注 提出する際は、記載例と説明文（青字の全ての箇所）を削除してください。***

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発課題名（英語表記） | ○○に関する研究開発Study of ○○（Joint Case for Supportに記載のTitleと同じものを記載ください。） |
| 公募名（事業名） | 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）日・北欧共同研究 |
| 研究開発期間 | 令和XX年 X月 X日 ～ 令和 XX年 X月XX日（X年間） |
| e-Rad研究分野（主）キーワード | ○△□、○□△（※e-Radの研究分野（主）の「キーワード」を記載） |
| 研究開発代表者 | 氏名 | （フリガナ） | ○○○○　○○○○ |
| （漢字等） | ○○　○○ Yyyy Yyyyyy |
| 所属研究機関（法人格も含む） | ○○法人○○大学 |
| 住所 | 〒XXX-XXXX ○○県○○市○○町・・・・ |
| 電話番号 | XX-XXXX-XXXX | ＦＡＸ | XX-XXXX-XXXX |
| E-mail | YYY@YY.jp |
| 所属部署（部局） | ○○学部○○学科 |
| 役職 | ○○ |
| 経理事務担当者氏名 | ○○　○○ | 経理担当部署（部局）・連絡先等 | ○○大学管理部○○課電話番号：XX-XXXX-XXXX FAX番号：XX-XXXX-XXXXE-mailアドレス：YYY@YY.jp |
| 研究開発分担者※※ | 氏名 | （フリガナ） | ○○○○　○○○○ |
| （漢字等） | ○○　○○ Zzzz Zzzzzz |
| 所属研究機関（法人格も含む） | ○○法人△□大学 |
| 住所 | 〒XXX-XXXX ○○県○○市○○町・・・・ |
| 電話番号 | XX-XXXX-XXXX | ＦＡＸ | XX-XXXX-XXXX |
| E-mail | YYY@YY.jp |
| 所属部署（部局） | ○○学部○○学科 |
| 役職 | ○○ |
| 経理事務担当者氏名 | ○○　○○ | 経理担当部署（部局）・連絡先等 | ○○大学管理部○○課電話番号：XX-XXXX-XXXX FAX番号：XX-XXXX-XXXXE-mailアドレス：YYY@YY.jp |

※ 研究開発分担者等は全ての分担者について記載してください。また、人数に応じて適宜記載欄を追加してください。

# 研究組織（研究開発代表者及び研究開発分担者―日本側のみ）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属研究機関※1 | 現在の専門 | 令和3年度研究経費※２（千円） | エフォート（％） |
| 生年月（年齢:令和3年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）学位取得年 |
| 研究者番号 | 役職※1 | 役割分担 |
| 研究開発代表者 | ○○　○○ | ○○○○大学 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△学部△△△学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
| 12345678 | △△△ | 研究の統括 |
| 研究開発分担者 | □□　○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）H15年 |
| 98765432 | □□□ | データの解析 |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　2名 | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

※1　所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所の所属研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　研究経費については、直接経費を記載してください。

# 北欧側研究者　（英語表記）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名（代表者）\* | （名） | （姓） |
| 所属機関 |  |
| 部署 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 | （名） | （姓） |
| 所属機関 |  |
| 部署 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 | （名） | （姓） |
| 所属機関 |  |
| 部署 |  |
| 役職 |  |

*※必要に応じて欄を追加してください。*

*※北欧側研究者のうち代表者を最上段に記載してください（Project Leader又は日本側研究者がProject*

*Leaderの場合は北欧側代表者）。*

# 日本側年度別経費内訳

* *Application Formと費目が異なりますのでご注意ください。Application Formの費目はForm内のBudget guidelinesを参考にしてください。日本側経費については、日本側研究者向け補足応募注意事項（８.2委託研究開発費の範囲及び支払い等）を参考に年度毎に記載してください。*
* *間接経費も含む合計金額がApplication Formの合計金額と同じ金額になるように記載してください。*
* *e-Radには会計年度毎（R3年度（2022年1月～2022年3月）、R4年度（2022年4月～2023年3月）、R5年度（2023年4月～2024年3月）、R6年度（2024年4月～2024年12月）の予算計画を記載してください。*

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | YEAR 1 | YEAR 2 | YEAR 3 | 計 |
| R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 |
| 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

# 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■本研究開発課題の研究開発代表者の応募時点における、（1）応募中・応募予定の研究費、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。

■国の競争的研究費制度やその他の研究助成等(民間財団・日本国外機関を含む)について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記載してください。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

※　必要に応じて行を挿入して構いません。

## （1）応募中・応募予定の研究費

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割（代表・分担の別) | 令和3年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】申請者本人への配分予定額（直接経費）（R3～R6） | ○○と△△の相関に関する実験的研究（○○○○） | 代表 | 6,000[18,000] | 30 | （総額　21,000千円）\*研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R3～R4・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000[9,000] | 20 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　9,000千円）\* |
| 令和3年度○○財団研究助成金（R3・○○財団） | 上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[1,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

## （2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究費制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割（代表・分担の別) | 令和3年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和元年度○○財団研究助成金（R2・○○財団 | ●●と□□の研究（○○○○） | 代表 | 1,000[1,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R2～R4・AMED） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

　\*　（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## （3）その他の活動

エフォート：　20　％

## これまでに受けた研究費とその成果等

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、研究費制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

研究費制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

## （1）【AMED事業】

・AMED　○○事業（A）、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## （2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

# 特記事項

■この項目は、AMEDとして概要を把握するために記載していただくもので、採否に影響はありません。なお、今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用させていただくとともに、研究開発課題が特定されないかたちで（例：事業やプログラムごとの単位等で）分析結果を公開させていただく場合があります。

（1）研究開発課題を進めるうえで、患者・市民参画（PPI：patient and public involvement）の取組を行っている場合、あるいは行う予定の場合には、その計画や実施方法等について記載してください。

（2）本研究開発課題を実施するにあたり、患者等の研究への参加、データ取得等を予定している場合には、その予定される人数（概数で可）を記載してください。

（3）本研究で得られたデータについて、データベースへの登録やデータシェアリングを予定している場合には、その概要を記載してください。

## （1）患者・市民参画（PPI：patient and public involvement）の取組について

患者・市民参画の取組：

本研究開発課題にて行う○○の臨床試験のプロトコルを作成するにあたっては、○○の患者団体との対話を通じて、○○に関する患者や家族側の意見を参考にする。

## （2）患者等の研究への参加、データ取得等の予定について

○○についての臨床研究に○名が参加予定。

○○の解析に用いるデータ・サンプルについてｘ名から提供される予定。

## （3）データベースへの登録やデータシェアリングの予定について

本研究で得られた結果について、○○のデータベースに登録予定。

別紙１

**研究開発の主なスケジュール**

■目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。

※ マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項

■項目別のスケジュールや担当者（研究開発代表者、研究開発分担者、相手国共同研究者）がわかるように記載してください。

※ １頁以内で記載してください。

|  |
| --- |
| **研究開発の主なスケジュール（ロードマップ）** |
| 研究開発項目※マイルストーン | 担当者氏名 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 |
| 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q |
| （1） 〇〇関連遺伝子発現解析・アッセイ系の確立・発現データ解析 |  |  | ▲マイルストーン：○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （2）  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （3） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （4） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （5） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （6） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

別紙２

**実施体制図**

日本の代表機関、分担機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、相手国の共同研究機関を含め、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

【体制図記載例】

角丸四角形：大学等

楕円：企業

長方形：AMED

点線矢印：契約

二重矢印線：試料・情報等のやりとり、分担

研究開発代表者

所属（及び主たる研究場所）

氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

AMED

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

解析

データ提供

試料の提供

加工

別紙3

**法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応について**

各項目の該当／非該当を選択し、該当の場合はその内容と対策について適宜、貴機関担当者に確認の上、記入してください。

|  |
| --- |
| **法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応　（ 研究代表者　記入用チェックリスト ）** |
| （１）生物遺伝資源等利用に伴う各種規制に対応する必要がある研究 |
| **どちらか選んでください。****〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合、その内容と対策を簡潔に記入のこと。詳細は次項の詳細Aに記入する。） |
| （２）生命倫理及び安全対策に対する取組を必要とする研究 |
| **どちらか選んでください。****〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。詳細は次項の詳細Aに記入する。） |
| （３）人権及び利益の保護の取扱いに対応する必要がある研究 |
| **どちらか選んでください。****〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。） |
| （３－１）個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究 |
| **どちらか選んでください。****〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。） |
| （４）社会的・倫理的配慮を必要とする研究 |
| **どちらか選んでください。****〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。） |
| （５）知的財産等の取扱に対する配慮が必要な研究 |
| **どちらか選んでください。****〔該当〕　〔非該当〕** | （非該当の場合は判断理由を、該当する場合その内容と対策を簡潔に記入のこと。詳細は次項の詳細Bに記入する。） |

|  |  |
| --- | --- |
| **〔詳細A〕****遺伝資源などの取扱いについての検討状況**※相手国の研究機関、研究者との協議、許可申請、手続き状況を含めてご記載ください。 | **＜研究用試料（遺伝資源を含む）の国内外への持ち込み、持ち出しの有無＞**－－－－－**＜上記で”有り”の場合、生物の多様性に関する条約の遺伝資源の取得の機会及びその利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分（ABS）に関する名古屋議定書（略称「名古屋議定書」への対応状況＞**－－－－－**＜海外から国内に生物試料を取り寄せる場合、病原性を有する生物試料を取り寄せるなど植物防疫法等への対応状況＞**－－－－－**＜日本国内において、遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（カルタヘナ法）への対応状況、第一種使用、第二種使用、所属機関の承認状況、大臣確認実験に該当もしくは非該当など＞**－－－－－ |
| **〔詳細B〕****MTA、知的財産等の取扱いについての検討状況**※相手国の研究機関、研究者との協議、契約、手続き状況をご記載ください。 | **＜知的財産権、秘密保持契約、MTA （Material Transfer Agreement（物質移動合意書）などに関する取り扱い＞**－－－－－ |